

JP Venice connection

1~2人 | 5分~ | 8歳~

めぐる運河をつなげよう!

ふたりでひとつの運河を作ります。L字とI字のタイルを使って、ぐるりと流れる運河を完成させましょう。運河を完成させたプレイヤー、または、途中で運河が完成できないことを見抜いたプレイヤーの勝ち。美しいヴェネチア運河をテーマにしたゲームを楽しんでください。

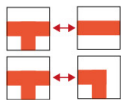
内容物

タイル 20枚 (基本タイル16枚、拡張タイル4枚)

基本タイルには、片面がまっすぐな運河「I」、もう片面はL字に曲がった運河「L」が描かれています。



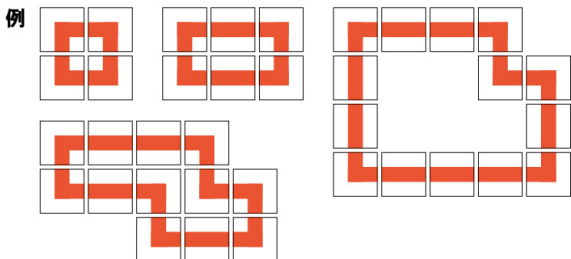
拡張タイルの片面にはすべて、運河「T」が描かれています。4枚のうち、2枚はもう片面が運河「I」、残り2枚には運河「L」が描かれています。



※ 拡張タイルはゲームに慣れてきてから使います。はじめは使わないので箱に戻します。〔拡張ルール：水色の運河〕で後述)

ゲームの目的

2人のプレイヤーは、交互にタイルを配置して、輪状にぐるりとつながる「運河の完成」を目指します。ゲームの目的は、運河を完成させる最後のタイルを、自分の手番で配置することです。



※ 運河の完成は、上の例以外にもバリエーションがあります。

※ テーブル上のタイルは一つのぐるりとした運河を作るために使いますが、16枚のタイルを全て使う必要はありません。

ゲームの準備

基本タイル16枚を重ね、山札として置きます。

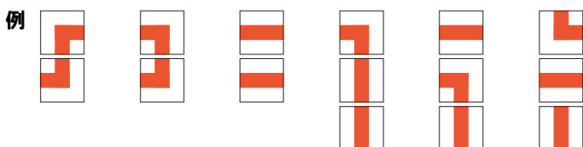
ゲームの進め方

プレイヤーは交互に手番を行います。自分の手番がきたら山札から1~3枚のタイルを取り、テーブルの上に置きます。

※ タイルのどちらの面を上にして使ってもOKです。

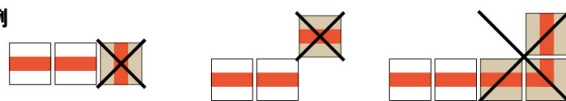
2枚以上のタイルを置くときは、必ず1列の直線状に並べて置きます。

このとき、運河の流れが繋がっている必要はありません。



最初の手番の後は、少なくとも1枚以上のタイルを、すでに並べてあるタイルの運河につなげていきます。

例



運河の流れを止めるようにタイルを置いてはいけません。

タイルは隣接させなければいけません。

タイルとタイルが直線にならないようには置けません。

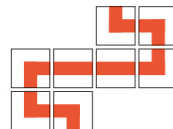
ゲームの終了

自分の手番で、ぐるりと輪状の運河を完成させたとき、ゲームは終了し勝利となります。

不可能の宣言

このゲームでは必ず運河が完成するとは約束されていません。

もし、相手プレイヤーが手番でタイルを置いた直後、自分の手番で、この運河を完成できないと判断したときは「不可能です」と宣言することができます。



その場合、相手プレイヤーは、1人で運河の完成に挑戦します。その結果、運河が完成できなければ宣言をした自分の勝ち、逆に完成されたら相手の勝ちです。

ゲームの戦略

このゲームは見た目ほど単純ではありません。特に序盤では、少し工夫のある置き方をすることが重要です。

例



このようなシンプルな置き方をすると、すぐに負けてしまいます。



次の手番のプレイヤーは下側にタイルを2枚置くことで、簡単に勝利できます。

下側にタイルを3枚置き、相手の手番でどちらかに置くと、自分の手番が回ってきたら勝利です。

拡張ルール：水色の運河

ゲームの準備で、基本タイル16枚の隣に拡張タイル4枚を置きます。プレイヤーは**20枚のタイルをどれでも、どの面でも自由に使えます。**ルールは基本のゲームと一緒にです。

A game by Alex Randolph
Illustrations by Wanjin Gill

'T-tile Expansion' suggested by Junghee Choi
'Venice Connection PUZZLES' by Playte Team

Published by Gameology Inc. and itten, LLC.

www.playte.com

www.itten-games.com

© 2021. Gameology, Inc. All rights reserved.

itten x playte